

[専門分野]

ソーシャルワーク

[主要担当科目]

ソーシャルワーク論、ソーシャルワーク演習、ソーシャルワーク実習、社会福祉の基礎

[研究テーマ]

ソーシャルワーカーの現任者教育、ソーシャルワークにおける質的研究、プラクティショナー・リサーチなど

[略歴]

千葉大学卒。同志社大学大学院文学研究科博士前期課程（社会福祉学）修了。ワシントン大学大学院（米国：セントルイス）修士課程（ソーシャルワーク）修了（MSW）。ヨーク大学大学院（英国）博士課程（ソーシャルポリシー&ソーシャルワーク）修了（Ph.D.）

京都国際社会福祉センター社会福祉士養成課程（一般養成施設）の教務主任を経て、アメリカ&イギリスに留学。京都国際社会福祉センターでは、社会福祉士の養成に加え、ソーシャルワーカーを始めとした対人援助職の現任者訓練の企画・運営に携わる。

[主要研究業績]

- ①発行または発表の年月
- ②著書・論文等の名称
- ③単著・共著の別
- ④発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称
- ⑤編者・著者名（共著の場合のみ記入）
- ⑥該当頁数

【論文】

2015年12月

「Professional learning as being a social worker: Post-qualifying learning among Japanese social workers」 単著, Unpublished PhD thesis, University of York Department of Social Policy and Social Work, UK

2015年12月

「海外レポート アメリカのMSW（Master of Social Work）教育プログラムの実際」 単著 同志社大学社会福祉学会『同志社社会福祉学』第29号 pp.113～128

2016年5月

「福祉現場における人材育成：支援者の学びを”マネジメント”することは可能か？」 単著 日本知的障害者福祉協会『さぼーと』第63巻第5号 pp.21～23

2016年12月

「ソーシャルワーカーとしての学びにおけるリフレクション：『今いるところ』から離れるために」 単著 『ソーシャルワーク学会誌』第33号 pp.13～25（査読あり）

2017年3月

「ソーシャルワーカーのナレッジベース（Knowledge base）に関する一考察：ソーシャルワーカーの多様な知識のあり方の理解に向けて」 単著 『ルーテル学院研究紀要』第50号 pp.33～42

2017年6月

「ソーシャルワーカーであることの不確かさ：ソーシャルワーカーとしての学びの検討を通して」 単著 日本ソーシャルワーク学会『ソーシャルワーク学会誌』第34号 pp.1～14（査読あり）

【学会発表等】

2016年6月

「Professional Learning as a Way of Being a Social Worker: Post-qualifying Learning among Japanese Social Workers」, The Joint World Conference on Social Work, Education and Social Development, Seoul, Korea, 口頭発表

2016年7月

「ソーシャルワーカーとしての学びにおけるリフレクションー今いるところから離れるために」 第33回日本ソーシャルワーク学会（同志社大学） 口頭発表

2016年9月

「ソーシャルワーカーであることの不確かさーソーシャルワーカーの実践と学びの検討を通して」 日本社会福祉学会第64回秋季大会・特定課題セッションⅡ「ソーシャルワークマインドとは何か」（コーディネーター：保正友子）（佛教大学） 口頭発表

2017年7月

「ソーシャルワーカーのプロフェッショナル・ラーニング（Professional Learning）ー多様で豊かな学びの理解に向けて」 第34回日本ソーシャルワーク学会（北星学園大学） 口頭発表

【講演・研修】

2017年3月

「福祉現場における多様で豊かな学びー自らの専門職としてのあり方を問い続ける学びとは？」 同志社大学社会福祉学会・実践研究プロジェクト企画 研修講師

【学会等および社会における主な活動】

対人援助学会理事

日本ソーシャルワーク教育学校連盟関東甲信越ブロック 運営委員

三鷹市社会福祉事業団苦情解決第三者委員

【趣味・関心事】

趣味は音楽鑑賞で、洋楽ではビートルズ、ビーチボーイズ、キャロル・キング等の1960～70年代のロックとポップスを、邦楽では小沢健二、黒沢健一、スピッツ、曾我部恵一（サニーデイ・サービス）、高野寛、中村一義、槇原敬之等をこよなく愛しています。“No music, No Life”、素晴らしい音楽は生活に様々な彩りを与えてくれます。